

日本遺産 藍のふるさと阿波

～日本中を染め上げた至高の青を訪ねて～



藍のふるさとを歩く vol.3

～藍商が残した西麻植地区の遺産を訪ねて～

令和6年11月24日(日)

出発時間：午前10時～

※出発時間20分前までに受付

- ・西麻植教育集会所に集合して、周辺の藍関連文化財をめぐる
- ・約5.5kmを歩ける方
- ・定員：30名(空きがあれば当日参加も可)
- ・参加料(保険料含む)：大人(高校生以上)300円
子ども(小中学生)200円 ※未就学児は無料
- ・小学生以下は、保護者同伴のこと
- ・小雨決行

吉野川市生涯学習課へお電話でお申し込みください
(※11月8日(金)×切 平日のみ受付)

☎0883-22-2271 (受付時間：8:30～17:00)

主催：藍のふるさと阿波魅力発信協議会

藍のふるさと阿波サポーター

背景：西麻植八幡神社



©AINOFURUSATO_AWA



日本遺産 藍のふるさとを歩く vol.3 ～藍商が残した西麻植地区の遺産を訪ねて～

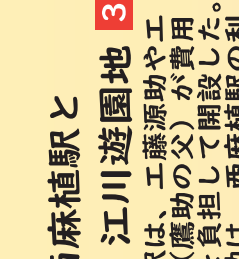
4 全国名水百選 江川の湧水
江川の湧水は大正5年の吉野川築堤により、江川が閉鎖されたことにより、それまでは、吉野川の一部（本流の時代もあった）であり、藍作地方特有の氾濫地域であった。藍玉などの荷物を運ぶ運河の役割も果たしていた。



5 西麻植駅と

江川遊園地

西麻植駅は、工藤源助や工藤席吉（鷹助の父）が費用の大半を負担して開設した。工藤源助は、西麻植駅の利用者者が減少し、廃駅の危機に瀕すると、その存続のために江川遊園地（昭和44年吉野川遊園地に改称、平成23年閉園）を創設した。



6 西麻植の六地藏菩薩

この地域はかつて洪水による被害が頻発したことから、洪水と六地藏に関連した民話「六地藏物語」が、現在も地域住民によって語り継がれている。



8 中内神社

（藍商人：工藤源助・ハツ夫妻が寄進）大正3(1914)年10月13日に藍商人の工藤源助・ハツ夫妻が寄進し建立された。境内には源助・ハツ夫妻の名が刻まれた石碑や鳥居、狛犬が残されている。



7 西麻植八幡神社

吉野川市の有形文化財に指定されている西麻植八幡神社の備前焼の狛犬や太鼓橋、両部鳥居も地元の有きな藍商人から寄進されたものである。



1 西麻植会館前石碑

（南隣の旧西尾村役場跡から移設）石原六郎 …（藍商人・人造藍販売） 呉郷文庫（図書館）創設 和田嘉衛 … 東京計器（株）創設者 工藤半平 …（藍商人）工藤家祖家



9 工藤神社

工藤半平氏の藍屋敷跡（西麻植城跡）の市道を挟み東側に鎮座する。大正13(1924)年10月10日建立。発起人：工藤半平氏。



10 西麻植児童公園

（藍商人：工藤半平の藍屋敷跡地）西麻植城→藍屋敷→西麻植児童公園 工藤家先祖は伊豆国出身で、西麻植村に領地を拝し、西麻植城に代々居住してきた。その後、工藤半平氏の藍屋敷となり、祖家断絶により現在には西麻植児童公園となっている。

